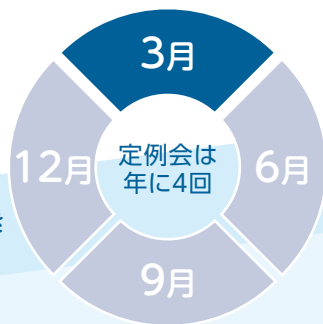


# 大野城市 議会だより



2022 令和4年  
No.157  
発行 大野城市議会  
編集 広報委員会  
令和4年5月15日

3  
3月定例会



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、  
本会議および委員会の傍聴はお控えいただき  
ますようお願いいたします。

## 令和4年 第3回6月定例会 (予定)

6月 3日(金)10:00~ 本会議 提案理由説明  
8日(水)10:00~ 本会議 質疑・付託  
9日(木)10:00~ 各常任委員会 13日迄

16日(木) 9:30~ 本会議 一般質問  
17日(金) 9:30~ 本会議 一般質問  
21日(火)10:00~ 本会議 報告・討論・採決



※富世学舎

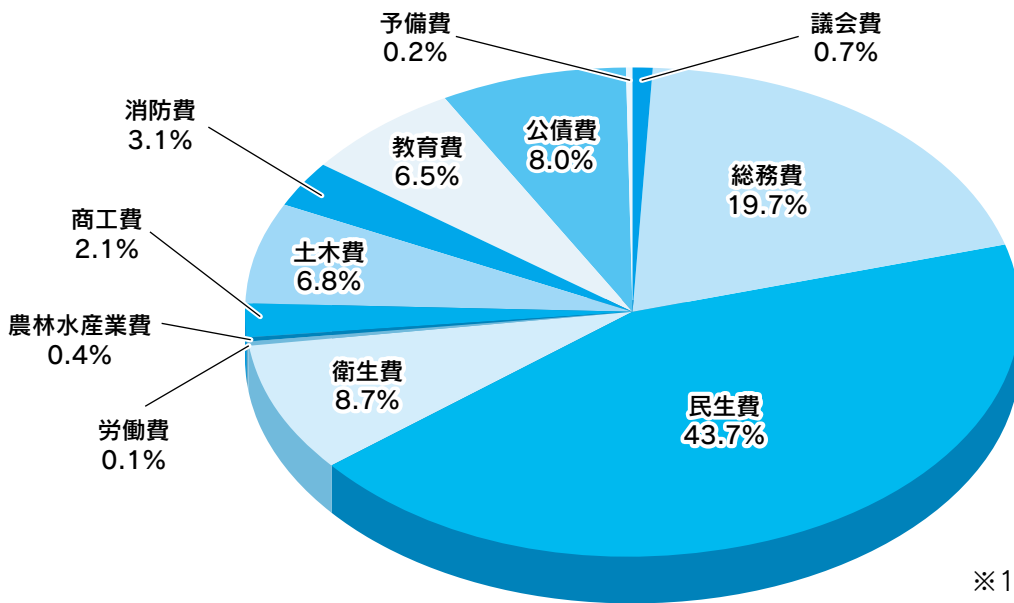
### 主な記事

- 令和4年度一般会計予算 … P2～3
- 委員会レポート … P5～8
- 1月臨時会 … P3
- 代表質問 … P8～11
- 3月定例会 … P4～5
- 一般質問 … P11～14

市民とともに歩む議会だより  
次号158号  
令和4年  
8月15日発行

あなたの写真で  
議会だよりの紙面を  
飾ってみませんか?  
(締切り 6月15日)

# 令和4年度一般会計当初予算



※1万円未満は切り捨て

## 歳出総額 382億3600万円

前年度比 20億7700万円増と2年ぶりのプラス予算

### 気になるポイントをピックアップ!

#### 民生費

ワンコインで  
受診!

##### ◎特定健康診査等事業

5943万円

40～74歳の国保加入者が利用できる特定健康診査の40～69歳の方の自己負担額が1000円から500円になります。(70～74歳は昨年度、今年度ともに500円)

##### ◎子ども医療費助成事業

4億1547万円

子どもたちの健康を守り、子育て世代の負担軽減を図るため、中学3年生までの入院・通院にかかる医療費の一部負担金のうち自己負担限度額を超える金額を助成する制度です。

#### 教育費

##### ◎総合型地域スポーツクラブ

運営事業

657万円

子どもから高齢者まで、各世代に対応した初心者向けの運動・スポーツ教室が通年で開催されます。

##### ◎青少年の居場所運営事業

770万円

大野城市筒井にある「ユープレ」では青少年が気軽に立ち寄り、安心して自由に過ごすことができます。



# 新規事業 & 主要事業

## 子宮頸がん検診（個別検診）充実事業

主に集団検診として実施していた子宮頸がん検診について、全ての対象者が集団検診又は医療機関での個別検診を選択できるよう、検診体制を拡充する。

## 留守家庭児童保育所・ランドセルクラブ事業

従来の留守家庭児童保育所とランドセルクラブの一体運営を、令和4年度から市内全ての小学校で実施する。

## シビックゾーン整備事業

市役所を中心に公共施設などが集中的に立地する区域(シビックゾーン)に駐車場、広場を整備する。

# 1月臨時会

令和4年1月臨時会を1月27日(木)に開催。  
1の案件を審議し、可決。報告が1件。

## 審議結果一覧

令和4年第1回1月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第1号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第14号)について	全会一致可決	予算委員会
報告第1号	専決処分の報告について(錦町公園における転倒事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—

# 1月臨時会 委員会レポート

## ふるさと納税寄附金増などの補正予算

予算委員会

### 第1号議案

令和3年度大野城市一般会計補正予算(第14号)について

- ふるさと納税の寄附金が見込みを上回ることから、事業費及び積立金を追加するもの。
- 高齢者インフルエンザ予防接種の接種件数が当初の見込みを上回ることから、委託料を追加するもの。
- 中学校給食選択制度の魅力を向上させることを目的に、制度の充実等について協議する委員会を設置することから、委員会の運営に要する費用を追加するもの。

問 ふるさと納税の寄附金が見込みを上回ったとのことだがどのような取組をされたのか

答 人気返戻品の傾向分析や効果的なPR手法について常々研究するなど、寄附増額に係る取組を行っている。

問 高齢者インフルエンザ予防接種の接種件数の見込みは

答 当初の見込みは、接種率50%で1万1,320件としていたが、追加分として約1,800件増え、接種率見込み58%、1万3,131件を見込んでいる。

問 中学校給食制度の魅力向上を目的に、制度の充実について協議を行う委員会について、委員の人選はどのようになっているか

答 給食について専門的な知識を有する者、校長会、PTAと教育長が認める者について、人選を進めている。

# 3月定例会

令和4年3月定例会を2月22日(火)から3月18日(金)まで開催  
37の案件を審議し、全て可決、同意。報告が3件。5会派が代表質問、6名の議員が一般質問。

## 審議結果一覧

令和4年第2回3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第2号議案	機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	総務企画委員会
第3号議案	大野城市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	全会一致可決	//
第4号議案	大野城市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第5号議案	大野城市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第6号議案	大野城市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第7号議案	大野城市職員の給与に関する条例及び大野城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第8号議案	大野城市職員の給与に関する条例及び大野城市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第9号議案	大野城市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第10号議案	大野城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第11号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	福祉文教委員会
第12号議案	大野城市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	//
第13号議案	大野城市奨学資金条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第14号議案	市道路線の認定について	//	都市環境委員会
第15号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	-
第16号議案	大野城市監査委員の選任について	//	-
第17号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第16号)について	全会一致可決	予算委員会
第18号議案	令和3年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第6号)について	//	//
第19号議案	令和3年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第20号議案	令和3年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	//	//
第21号議案	令和3年度大野城市水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第22号議案	令和3年度大野城市下水道事業会計補正予算(第3号)について	//	//
第23号議案	令和4年度大野城市一般会計予算について	//	//
第24号議案	令和4年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	//	//
第25号議案	令和4年度大野城市介護保険特別会計予算について	//	//
第26号議案	令和4年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	//	//
第27号議案	令和4年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	//	//
第28号議案	令和4年度大野城市土地区画整理清算金特別会計予算について	//	//
第29号議案	令和4年度大野城市水道事業会計予算について	//	//
第30号議案	令和4年度大野城市下水道事業会計予算について	//	//
第31号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第15号)について	//	//
第32号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第17号)について	//	//
第33号議案	令和4年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	//	//
第34号議案	令和3年度大野城市一般会計補正予算(第18号)について	//	//
第35号議案	令和4年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について	//	//
第36号議案	大野城市議会基本条例及び大野城市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	//	-
報告第2号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	-
報告第3号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	-
報告第4号	専決処分の報告について(大字牛頸市道における転倒事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	-
決議案第1号	ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議	全会一致可決	-
意見書案第1号	野生動物及び愛玩動物に由来する人獣共通感染症対策の推進に関する意見書の提出について	//	-

一般会計予算

1月臨時会

3月定例会

委員会レポート

代表質問

一般質問

議会について知ろう

賛否等の分かれた議案

(○：賛成、●：反対、－：議長は表決に加わらないため)

会派名	自民令和			自民まどか			自民大野城			公明党			改革フォーラム		市民クラブ					
議員氏名	森和也	井福大昌	中村真一	平田不二香	関井利夫	山上高昭	渡邊知之	田中健一	平井信太郎	原田真光	岡部かおり	河村康之	井上正則	大塚みどり	神田徳良	関岡俊実	松田美由紀	松崎百合子	福澤信光	松崎正和
第2号議案	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
第11号議案	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第1号	母が中国で不法に逮捕されている件に関する要望
陳情第2号	台湾のWHO等国連専門機関参加及びCPTPP参加について
陳情第3号	地域医療を守り、医療・介護・福祉、公衆衛生の拡充を求める意見書を国に提出してください

3月定例会 委員会レポート

新型コロナウイルス感染症対策

予算委員会(補正予算)

第17号議案

令和3年度大野城市一般会計補正予算(第16号)について

**問** 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金の補正内容は

**答** 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業補助金は、新たに1,100万円を追加している。これは、新型コロナウイルス感染症克服のための経済対策として保育士や幼稚園教諭等の処遇改善を行うもので、対象施設は私立の保育所等及び幼稚園の合計19施設。対象期間は2月からで、2月と3月の2か月分の費用を追加するものである。

**問** 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の補正内容は

**答** 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費は、国の支援策である、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり10万円の給付を行う給付事業に係る費用であるが、住民税非課税世帯等に対する給付金の申請期限が令和4年9月30日までとされたことから、給付に要する費用を追加するものである。

**問** 小中学校における新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品の購入費用の補正内容は

**答** 国庫負担割合が2分の1である学校保健特別対策事業費補助金を活用し、新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を小中学校において購入するための費用を追加するものである。

**第23号議案**  
令和4年度大野城市一般会計予算について

**問** プロジェクションマッピング制作業務の内容は

**答** プロジェクションマッピングは、市制50周年記念事業と連携して実施することとしており、大野城市の過去・現在・未来を映像で表現して、広く大野城市の魅力を発信する事業として実施する。

**問** 市制50周年記念表彰事業の表彰対象と選考方法はどのようになっているか

**答** 市制50周年記念表彰、特別表彰、未来奨励賞として、市の公益等に対し特に功績があった個人・団体や未来につながる活動を行っている個人・団体を表彰するもので、約350人の方を各団体等から推薦していただき表彰する。

**問** ふるさと納税は、どれくらいの黒字を見込んでいるか

**答** 令和4年度は、令和3年度から10万件の増、約5億円の黒字を見込んでいる。

**問** 職員のストレスチェックの状況と取組は

**答** 高ストレス者の出現率は、令和2年度の9.3%から、令和3年度の11.9%となり、2.6ポイント増えた状態である。新人の職員に対しEAP（職員援助プログラム）を一度受診させるとともに、管理職に対しEAPを周知している。

**問** 中学校ランチ給食注文電子化事業とは

**答** LINEのアプリを使って注文できるシステムを考えている。月ごとに注文でき、当日券も保護者から注文ができるように考えており、年度当初から仕様を固めて、できる限り早い時期に一齐に導入したい。

**問** 障害児通所給付費の受給者はどれくらいで、今後の推移は

**答** 障害児通所給付費等受給者は、1万718人と見込んでおり、前年度より17.3%の増加となっている。事業所の増加等の要因により、全国的な傾向として、放課後等デイサービスの

利用は、伸びている状況である。

**問** 現在のワクチン接種率は、どのくらいか

**答** 3月7日時点の3回目のワクチン接種率は、18歳以上の対象者のうち、接種を済ませた方が2万6,290人で接種率31.8%、65歳以上については、接種率が76.3%となっている。

**問** 防災士養成・組織化支援事業の内容は

**答** 防災士の養成と、防災士同士の横のつながりをつくるため、令和4年5月設立予定の大野城市防災士連絡協議会に対して補助金の支出等を行うもの。

**問** ごみ排出量の増加に対する対策は

**答** ごみ減量およびリサイクルを推進しているが、コロナ禍の影響でごみが増えているという現状もある。これからも、ごみ減量、リサイクルにしっかり取り組んでいく。

**問** 子宮頸がんの予防接種の対象年齢と人数は

**答** 定期接種の対象者として、小学校6年生から高校1年生の女子2,602人、積極的勧奨の差し控えにより接種期間を逃した平成9年度生まれから平成17年度生まれまでの女子3,917人、合計6,519人を対象としている。

**第24号議案**

令和4年度大野城市国民健康保険特別会計予算について

**問** 令和4年度から、40歳から69歳までの特定健診の自己負担金を1,000円から500円に引き下げた理由と受診率向上の見込みは

**答** 県内市町村と同程度の水準まで引き下げ、受診率向上を図るため。受診率は、2～3ポイントの上昇を見込んでいる。

**第25号議案**

令和4年大野城市介護保険特別会計予算について

**問** 成年後見制度利用助成事業の利用実績は

**答** 令和2年度が6人、令和3年度の見込みが5人、令和4年度は8人を見込んでいる。

## 市道路線の認定について

都市環境委員会

### 第14号議案

#### 市道路線の認定について

- 問** 今回寄附を受け、市道として認定しようとしている道路は行き止まりになっているが、市の採納規程は要件が緩和されたのか
- 答** 採納規程の中に、両端が公道に接続していることという基準があるが、袋路の場合に認められる条件が別にある。これは、道路の延長が35メートル未満のものという要件であるが、今回の道路は32メートルであるため、採納規程を満たしていることになる。



## 大野城市奨学資金の給付額増・対象の拡大

福祉文教委員会

### 第11号議案

#### 大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

- 問** 今後の税率改定の計画はどうなっているか
- 答** 大野城市国民健康保険運営協議会からの答申の中の、赤字を将来に残さないという意見を踏まえ、来年の標準保険税率、令和3年度・4年度の収支の状況等を勘案し、税率の引き上げだけでなく、特定健診の受診率の引き上げによる医療費の抑制など、様々な状況を見ながら進めたい。

- 問** 税率見直しについての市民の理解をどう得るか

- 答** 1期当たりの市民の負担を軽減するため、来年度より納期を8期から10期に変更する。今後ご理解いただける説明をしていきたい。

### 第13号議案

#### 大野城市奨学資金条例の一部を改正する条例の制定について

- 問** 資格対象も広げるなど、受給条件を緩和した理由は

- 答** 以前の制度では、進学するときに本市の奨学資金の給付を受けると、他の奨学資金の給付または貸与の制度が使えなかった。その結果、本市の給付だけで大学進学のコストを賄うのが難しいという理由で、高校進学に比べ大学進学のコストが少なかった。総合的に制度を見直し、月奨学資金の額を引き上げ、また、入学一時金を創設した。あわせて、本市の給付のみで不足するときは、他の給付奨学資金について、貸与に限り受けられることとした。

- 問** 想定奨学金給付対象者数と選考基準は

- 答** 高校生を毎年4名程度、大学生を3名程度、合計7名程度と考えている。また、給付対象者を学業成績が優秀な者だけでなく、それぞれ1名ずつ文化スポーツの分野における成績が優秀な者を追加し、スポーツの成績の条件については、高校進学の場合、日本中学校体育連盟が主催する県大会において個人戦がベスト16以上、団体戦がベスト8以上としている。社会体育でも同様としている。また、文化については全国中学生文化連盟主催の県大会で、最優秀賞、金賞を受賞していることを条件とする。

## 職員の育児休業等について

総務企画委員会

### 第10号議案

大野城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 育児休業を取得しやすい勤務環境の整備とは具体的にどのようなものか。また育児休業に関する研修の内容は

**答** 職場の理解があり、業務上の不安に対しては人員を補てんしカバーができる環境づくりを進めている。育児休業に関する研修では、特に管理職に対し職場での育児休業を取りやすい雰囲気づくりについての研修を進めていく。

**問** 育休や産休を取得する際の届出には、何が必要か

**答** 手続きには証明が必要になる。医師の証明や、母子手帳の出産の欄を確認している。

**問** 男性職員も育児休業を取得しているか

**答** 男性でも取得できる制度である。令和3年度は7名の男性職員が育児休業を取得した。

**問** 育休制度の分割取得は可能か

**答** 現在は分割で取得することはできない。国の動きに準じながら検討もしくは必要な改正を行っていく。

**問** 男性に対して育休取得への理解を全庁的に広めるための取組は

**答** 育休制度の紹介や推進についてのガイドを作っており、育休の取りやすい体制を整えている。

**問** 公務員の男性の産休は考えていないのか

**答** 現在、本市には制度がなく、国からも男性の産休についての通知はないが、そのような通知が来た際には前向きに検討していきたい。

## 代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。



代表質問とは・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内容
自民令和	・ 森 和也 ・ 井福 大昌 ・ 中村 真一 <b>質</b> 平田 不二香	1. 施政方針について
公明党	<b>質</b> 河村 康之 ・ 井上 正則 ・ 大塚 みどり ・ 神田 徳良	1. 市政運営の基軸について 2. 主要な施策・事業について
自民大野城	・ 田中 健一 ・ 平井 信太郎 <b>質</b> 原田 真光 ・ 岡部 かおり	1. 市民の暮らしを豊かにするデジタル技術の活用について 2. 変化に立ち向かう自治体組織の構築について 3. 主要な施策・事業について 4. 地域と行政の共働による魅力輝くまちづくりについて 5. 都市と自然が共生した安全で安心なまちづくりについて
改革フォーラム	・ 関岡 俊実 <b>質</b> 松田 美由紀 ・ 松崎 百合子	1. 新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守る取り組みについて 2. 市民の暮らしを豊かにするデジタル技術の活用について 3. 新たなコミュニティ構想の策定と地域づくりに関する施策について 4. 未来を担う子どもたちが心豊かに育つまちづくりについて
自民まどか	・ 関井 利夫 ・ 山上 高昭 <b>質</b> 渡邊 知之	1. 令和4年度施政方針について





映像は「しあひら」

## 市制施行50周年大野城市の未来は

自民令和

**問** 新型コロナウイルス感染症から市民の命と暮らしを守るため取組や支援は

**答** 2回目のワクチン接種から6か月が経過した方が、速やかに3回目の接種を受けられる体制づくりを整えている。

市民向けの支援は、新生児子育て応援特別給付金給付事業やPCR検査費用助成事業などを実施し、事業者向けにはプレミアム付商品券発行支援事業や中小企業融資制度運営事業などを実施する。

**問** 西鉄高架化完了後のまちづくりは

**答** 高架下に、イベント等に活用できる広場や複合施設、木陰やベンチを備えた広幅員の歩道や散策路、休憩施設などの整備を行う。既存の鉄道橋を活かした鉄路100年の名残を感じられる特徴ある空間づくりも進め、春日原駅から下大粒駅までがにぎわいベルトとして新たな活気を生み出す空間になるよう取り組んでいく。

**問** 今後の地域公共交通ネットワークについて

**答** 令和4年度からの新たな地域公共交通ネットワークの再構築として、コミュニティバスの運行ルート見直しやデマンド交通などの新たな移動手段の検討、相互乗り入れなどの近隣市との広域連携など、多角的な視点から検討を進める。

**問** ゼロカーボンシティへの取り組みは

**答** 2050年のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを目指し、太陽光発電システム設置費補助金の拡充や、CO<sub>2</sub>排出が少ない設備等の導入による脱炭素経営の推進、また令和4年度から、荒廃している竹林を伐採しCO<sub>2</sub>吸収効果が高い樹種への植え替えを行う事業を実施する。



映像は「しあひら」

## 令和4年度施政方針に問う

公明党

**問** 不登校児童生徒への支援強化の内容は

**答** 令和4年度からは、複数の団体が参加する実行委員会形式で支援体制を強化し、相談支援や学習支援を行っていく。支援の担当者は、不登校児童生徒やその保護者との信頼関係が重要であることから、日替わりで担当が替わることがないように、実行委員会で不登校児童生徒の個性等も勘案しながら適切に対応していく。

**問** 中学校の制服はブレザーやスラックスを基本に、スカートを選択性とするなど、統一性と多様性を取り入れてはどうか

**答** 制服の在り方については、機能性、経済性、多様性など様々な観点を基に、他自治体の先進事例も参考に検討していく。またスカートやスラックスの選択だけでなく、経済性や着心地、感覚過敏の生徒への配慮、デザイン等多角的な視点から協議を行い、本市の中学校制服の在り方を検討していく。

**問** 災害時の情報の伝達について、戸別受信機の貸与の対象と、今後の計画は

**答** 戸別受信機の貸与は、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域に居住しており、かつ携帯電話・スマートフォンなどを保有しておらず、緊急情報が取得できない世帯、また高齢者のみの世帯、視覚障がい者のいる世帯が対象。戸別受信機を含めた災害情報伝達システムの整備と併せて、市ホームページやSNSなど、市民の皆様が避難や防災に関する情報を複数の手段で取得できるよう、情報伝達体制の整備と強化に努めていきたい。





映像は「ひびく」

## デジタル技術活用の推進へ

自民大野城

**問** 自治体DX<sup>※1</sup>を着実に進めるための専任部署として新たにデジタル推進課を設置するとあるが、具体的な事業内容について伺う。また、どのレベルまでの人材を育成、または確保していくのかを伺う

**答** デジタル推進課では、デジタルガバメントの推進とデジタル技術の活用による暮らしと都市機能の向上に向けた施策の推進に取り組む。具体的には、デジタルを活用した業務効率化や行政手続のオンライン化、Wi-Fi環境の整備、災害時における通信手段の確保などである。デジタル推進課職員の育成については、日進月歩で進む自治体DXの情報収集や最新のデジタル技術に関する知識習得のため、専門的な外部研修への参加や多方面からの情報収集などを通して育成を図る。あわせて、ICT<sup>※2</sup>に関する高度な専門性を必要とする事業を実施する場合などにおいては、外部人材の活用や共同事業体の

組織化なども含め、柔軟に対応していく。

※1 自治体DXとは、自治体デジタルトランスフォーメーションの略語であり、デジタル技術を活用して業務の効率化を図り、行政サービスを改善しながら人々の生活をより良いものへ変革させること。

※2 ICTとは、情報通信技術の略語であり、情報処理や通信に関連する技術の総称のこと。ITとほぼ同義



映像は「ひびく」

## アフターコロナにおける地域コミュニティ

改革フォーラム

**問** 平時でのタブレット端末を活用したオンライン学習と学級閉鎖時のオンライン学習について

**答** 平時のオンライン授業は、ICTの特性や強みを活かしながら、児童生徒が自ら学び自ら考え、対話などを通じて深い学びができるよう取り組んでいる。学級閉鎖時のオンライン授業では、教員がタブレット端末を通して児童生徒とコミュニケーションを図り、可能な限り平時に近い形の授業となるよう取り組んでいる。

**問** コミュニティ構想ver.2実行プラン進捗状況において未着手や遅延、未達成の項目に対する今後の予定と、多様な主体がまちづくりに参画する地域づくりについて

**答** 目標が未達成の事業については、令和5年度末までの目標達成に向けて、重点的に取組を進めていく。新たなコミュニティ構想における多様な主体が参画する地域づくりに必要な支援や取組

については、新たに設置するコミュニティ構想策定協議会において検討を進めていくこととしている。

**問** 中学校の制服の意見集約について

**答** 中学校制服の在り方については、制服検討委員会を令和4年度に設置し、児童生徒や卒業生、保護者、地域の方などに広く意見を求めていく。意見の集約を図る際には、インターネットサービス等の活用も検討していく。





映像は「1」から

# 令和4年度施政方針について

自民まどか

**問** オミクロン株の爆発的な感染拡大により、自宅療養者が急激に増加しているが、食料品や買い物支援の現状と今後の対策は

**答** 当初は、自宅療養者からの申請に基づき支援を行っていたが、本年1月からは福岡県から自宅療養者に関する情報が提供されることになり、市から自宅療養者へ直接連絡を行うプッシュ型の支援を実施している。配送は、自宅療養者から市への支援依頼もしくは福岡県から自宅療養者に関する情報提供を受けてから、遅くとも翌日までには支援物品を届けている。引き続き、速やかに支援できるように努める。

**問** 保育士が働きやすい環境の整備や賃金の補助により、保育士の確保や、待機児童数ゼロも維持できると思うが、具体的な対策は

**答** 保育士の業務負担軽減と安全・安心な保育の充実を図るため、保護者への連絡等の保育事

務を効率化するシステム及び園児の睡眠時の事故を防止する午睡チェックシステムを保育所等に導入する。また、処遇改善として、保育士等の現在の収入の3%相当額を各施設に補助する。さらに、保育士の家賃及び県外からの引っ越し費用などに対する助成を引き続き行う。



## ～ これからの大野城を問う ～

### 一般質問

各議員のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。



氏名	件名
中村 真一	・西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体交差事業に伴う駅周辺整備とまちづくりについて
森 和也	・災害に強いまちづくりについて
田中 健一	・危機管理対策について
岡部 かおり	・歩車分離式信号設置推進について
大塚 みどり	・コロナ禍における市民相談について
松崎 百合子	・SDGs目標5「2030年ジェンダー平等の実現」へ向けた、実効性ある第5次大野城市男女共同参画基本計画の策定について



映像は「まちづくり」

## 西鉄高架化に伴う駅周辺のまちづくりは

中村 真一



**問** 春日市や西鉄との官民連携のまちづくり協定の目的と内容について

**答** 沿線地域の魅力及び価値の向上やにぎわいづくりに寄与することを目的に、駅や高架下を中心としたにぎわいづくり、駅間をつなぐ安全で快適な歩行空間の整備、公共交通の利便性の向上、地域の魅力発信などについて連携を図ることとしている。

**問** 白木原駅西側の改札口に近接する日本郵便株式会社所有のJP白木原住宅の買主に対し、駅前にふさわしいまちのにぎわいに貢献できるような有効活用を要望することはできないか

**答** 日本郵便株式会社に対し、建築計画等を行う際には隣接した地域の方々にも丁寧な説明を行うことや、市の中心市街地及び駅前にふさわしい土地活用が図られるよう要望している。

**問** 駅周辺整備に伴うにぎわいづくりについて、西

鉄の各駅(春日原、白木原、下大利)周辺にある商店会と行政が連携を取りながら、まちのにぎわいづくりを進めているようなことはあるか

**答** 西鉄の各駅周辺には、商店会のほか、地域住民相互の交流や地域の活性化を進めていくことなどを目的に活動を行っている、まちづくりに関連した協議会等があり、各団体と連携を図りながら進めていく。

また、市の補助団体である大野城市にぎわいづくり協議会とも連携を図りながら進めていく。



※この図面はイメージであり、確定したものではありません



映像は「まちづくり」

## 災害に強いまちづくり (盛り土、水道管)

森 和也



**問** 大野城市において、盛り土の総点検は終了したか。危険性の高い盛り土は、発見されていないか。また、災害防止対策の不備などはなかったか

**答** 盛土の総合点検については、昨年7月の静岡県熱海市の土石流災害を受け、現在国の要請に基づき福岡県が実施している。県の調査では2月末時点で本市において危険性の高い盛土は見つかっていないとのことだが、引き続き県の調査結果を注視していく。

**問** 本市の水道管の耐震化は、どの程度進んでいるか

**答** 水道管の総延長443.7kmのうち、耐震性能を有する水道管は400.1kmで、全体の90.2%となっている。

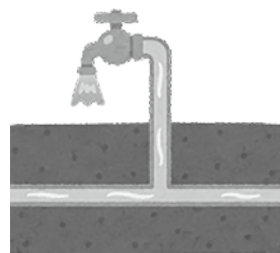
**問** いつ頃耐震化が完了する予定か

**答** 老朽化が進み漏水リスクの高い枝線管路から実施している。枝線管路は令和16年度、基幹管路

は令和36年度に耐震化完了の予定である。

**問** 本市の水道管の耐震化工事や更新工事のための財源については、確保されているか

**答** 本市は、令和10年度までは人口が微増する見込みであり、水道料金収入も微増傾向で推移している。このことから、第3次中期経営計画(計画期間:令和元年度~5年度)において、現行の料金体系のもと事業運営が継続できると考えている。今後も継続的な耐震化等の工事が必要だが、国庫補助金や企業債等を効果的・計画的に活用し、健全な財政運営に努めていく。





映像は「しんぶん」

## 本市の危機管理対策は？

田中 健一



**問** 県管理河川御笠川について、早急に県と流域5市の関係者全てで「御笠川水系流域治水協議会」を設立し、事前防災・減災対策を協議、検討し、対策をすべきと考えるが、どうか

**答** 今年度、県内の2級河川水系において、流域治水を計画的に推進するための協議・情報共有等を行うため、県や5市等で「福岡・前原・那珂圏域流域治水協議会」を設立しており、今後氾濫防止対策や減災対策に取り組んでいく。

**問** 御笠川の整備について、筑紫野市域の高尾川整備が令和3年度で終了し、令和4年度から大野城市域の整備を行うのではないと思うが、どうか

**答** 県から、来年度以降の河川改修は未定との回答があっている。早期に御笠川本川の改修に着手するよう引き続き、県に強く要望していく。

**問** 本市は「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言しているが、その目的と内容は

**答** 気温上昇を抑え自然豊かなふるさと大野城を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、市民や事業者と一体となって取り組むことを宣言したものの。

**問** ゼロカーボンシティの一環として、国は地方自治体による「地球温暖化対策実行計画」の策定を推進しているが、本市はどうするのか

**答** 地球温暖化対策実行計画については、現在策定中の環境基本計画と一体的に策定することとしている。



映像は「しんぶん」

## 誰もが安心して安全に渡れる 優しい交差点を

岡部 かおり



**問** CO<sub>2</sub>排出削減等のため、人の移動が自動車から公共交通や自転車、徒歩へと転換していくことが求められると思うが本市の見解を伺う

**答** 自動車から公共交通への転換については、地域公共交通ネットワークの再構築の中で検討を進めていく。自転車については、今年度策定した自転車活用推進計画に基づき、自転車の活用を推進し、市民の日常生活における移動手段の転換を図っていきたいと考えている。さらに、徒歩への転換については、観光やにぎわいづくり、健康増進などを目的として実施している大野城トレイルや、西鉄高架後の沿線空間等を活用し、歩くことの楽しさを実感していただくことから始めたい。

**問** 県道112号福岡日田線(旧国道三号)の往来増加が見込まれる中で、「大野城市役所前」交差点の信号機を、歩車分離式にすることで、より安全性が高まると思うがいかがか

**答** 「大野城市役所前」交差点については、市役所や商業施設も近く、歩行者の利用も多いことから、令和元年度から歩車分離式信号への変更を春日警察署へ要望している。しかし車両の渋滞を招くおそれがあるため、現在まで実現していない。シビックゾーン基本構想に基づく市庁舎を中心とした公共施設周辺環境の整備状況や、西鉄高架化完了後による周辺交通状況の変化に注視しながら、歩車分離式信号の設置を引き続き警察に要望していく。





映像は1分51秒

## 地域猫活動の周知・まどかぴあのWi-Fi環境！

大塚 みどり



**問** 令和2年度から取り組んでいる地域猫活動支援事業の課題は

**答** 地域猫活動の実施地域が少ないことや、活動のルールに基づいた餌やりとは異なる無責任な餌やりをされている方が多く見受けられることから、地域猫活動の目的や活動内容を市民へ周知する必要がある。

**問** 課題対策をどのように進めるのか

**答** 令和3年度から市に登録している6つの活動団体と意見交換会を開催し、地域猫活動事業を推進していく体制を構築できた。今後、地域住民を含めた勉強会や報告会などを行い、動物愛護に対する認知度と理解の向上を図り、人と動物が共生する社会づくりを目指したい。

**問** まどかぴあでオンラインやZoomによる講座が開催されるように、Wi-Fiの環境整備を進めていただきたい。本市の所見は

**答** リモートワークの普及により、貸し館の利用の際に通信環境に関する問合せも増加してきており、貸し館利用の形態もこれまでとは異なってきている。オンライン化のニーズは高まり、まどかぴあの本来の目的である地域住民の学習・文化活動及び男女共同参画都市づくりの推進を図るためにも、利用者がオンラインによる講座など、様々な動画配信等が可能な通信環境の整備が必要と考える。貸し館として提供している箇所へのWi-Fi等の整備は前向きに検討していきたい。



映像は1分51秒

## 第5次 男女共同参画基本計画に向けて

松崎 百合子



**問** 大野城市男女共同参画条例(基本理念1)「男女の個人としての尊厳が重んじられること」について、印刷物における固定的な性別役割や性差別的な表現をなくすための周知は

**答** 職員への周知は、庁内で活用している電子掲示板や職員研修等で行っている。事業者や市民の皆様にも市の取組をお知らせするとともに、事業者の参考となるよう、印刷物ガイドラインの市のホームページへの掲載について検討していく。

**問** 条例14条「市は、自治組織に対し、方針決定過程への男女共同参画の推進を図るための支援を行う」について、行政区長に女性の推薦を依頼することはできないか

**答** 行政区長の委嘱については、大野城市行政区長設置規則に基づき、地域活動についての専門的な知識・経験を有する方を行政区長の候補者として各区から推薦をいただいている。市で

は、区からの推薦内容を踏まえ、性別にとらわれず総合的に判断した上で行政区長を委嘱している。

**問** 条例前文「すべての市民がその個性と能力を尊重され、平和で心豊かに暮らす」ためにパートナーシップ制度の導入は

**答** 福岡県は令和4年度から性的少数者カップルのパートナーシップ宣誓制度を導入する予定。県の協力依頼を受けて、より有効な制度とするために、県に同調する方向で検討を進めている。



# 議会について知ろう

vol.4

## 一般質問・代表質問編

一般質問

代表質問

議員個人	誰が?	会派を代表する1名
定例会	いつ?	3月定例会と市長改選が行われた直後の定例会
質問内容を担当する部長等や市長	答える人は?	市長
市政に関する事を問い質す	何をどうする?	市長の施政方針 <sup>※1</sup> や所信表明 <sup>※2</sup> を問い質す
一問一答方式 <sup>※3</sup>	方式の違い	一括質問一括答弁方式 <sup>※4</sup>

- ※1 施政方針：市長が新年度の市政運営の基本姿勢および重点施策などについて考え方を述べるもので、3月定例会において行われる
- ※2 所信表明：市長が任期4年間の市政運営について、考え方を述べるもので市長改選直後の定例会において行われる
- ※3 一問一答方式：質問と答弁が交互に行われ、答弁に対しての再質問が認められる
- ※4 一括質問一括答弁方式：一括して質問したあと、それに対する回答もまとめて行われる。再質問は認められない

次回も  
お楽しみに!



## YouTubeによる「議会報告」

NEW

### 第3弾 決算認定編

ぜひ  
ご視聴ください!



### 大野城市議会HPからのアクセス方法

大野城市議会HP  
議会報告のバナーを  
クリック!



左の二次元コードから  
見ることができます。

大野城市議会 YouTube 検索

### 議会の動き

- 1月20日 議会運営委員会
- 1月27日 本会議(臨時会)  
予算委員会  
全員協議会  
会派代表者会議
- 2月14日 会派代表者会議
- 2月15日 議会運営委員会
- 2月22日 本会議(初日)  
全員協議会  
広報委員会
- 3月1日 会派代表者会議
- 3日 議会運営委員会  
本会議(2日目、代表質問)  
予算委員会  
総務企画委員会
- 4日 福祉文教委員会  
都市環境委員会
- 7日~10日 予算委員会
- 10日 議会運営委員会  
会派代表者会議
- 14日 議会運営委員会  
本会議(3日目、一般質問)
- 18日 議会運営委員会  
本会議(最終日)  
予算委員会  
会派代表者会議
- 4月8日 広報委員会
- 19日 広報委員会



# 作品紹介

## 短歌

- ひっそりと庭に咲きぬしフリージャ 貧しく生きし母思ひぬる
- 仕事着の若者四人ファミレスで 談笑しおりこの国っていいな (若草 高名 稔さん)
- ふるさと館に偲ぶ昔やショップ・カフェ 一杯の珈琲にまた懐かしむ (乙金台 泉 満夫さん)
- 青空に 黄色ミモザや 藤の花 桃色桜 木々みな若葉
- 春の野辺 すみれタンポポ 虫めざめ 足取り軽く 蝶も舞いて (乙金台 つぼみさん)
- 連休を如何に過ごすか思案するも あつという間に時は流れし
- 年齢重ね青春時代の思い出を ピアノで奏で友の顔浮かび (緑ヶ丘 平井静代さん)
- 受けとめし 心は愁い 君忍ぶ 在りし日 日々の珍道中 (つつじヶ丘 松野直美さん)
- 紅梅が 枝を連らねて 咲きほこり 季節を忘れず 目をたのしませ
- 春近し 自然の流れに 身をまかせ 老の坂道 きびしくなりて (白木原 高田ミドリさん)

## イラスト



(白木原 富子さん)



(白木原 智恵子さん)



(平野台 中村ひづるさん)

## 川柳

- 広告紙 裏の白紙はメモ帳に
- 挨拶は我的心を豊かにし (緑ヶ丘 平井静代さん)

## 俳句

- 下萌えの彼方此方に土竜塚
- 帯塚を守る人有り落椿 (牛頸 西山光法さん)
- 八十路にて 悠々自適の 糸瓜かな
- 雨あがり 秋月我れを 見つめおり (中央 田中千鶴さん)
- モチの実がたわわに実り風に揺れ (緑ヶ丘 平井静代さん)
- 衣脱ぎ お色直しで 伸びる筍
- 笑いこげ 茶摘みの籠 転げ落ち (つつじヶ丘 松野直美さん)
- みどり濃きどんぼの森や 猫ねむる
- 介護されてもパタカラばば恋みどり (乙金台 泉 満夫さん)

## 作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品
  - ・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真 ・イラスト など
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 TEL. 580-1938

- 注意事項
  - ・未発表のものに限ります
  - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
  - ・提出された作品は、返却しません。
  - ・ペンネームでも可とします。
  - ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。

- 応募締切 8月15日号掲載は6月15日まで



## 広報委員会

委員長	井上正則
副委員長	福澤信光
委員	原田真光
委員	神田徳良
委員	渡邊知之
委員	平田不二香

## あんてな

半世紀の歳月は、人間の平均寿命からみても大変に長いものです。その間、スマートフォンに代表されるICTの進歩や、道路や上下水道等のインフラ整備が進み、他にも様々な技術革新により便利な生活を享受できるようになりました。また、自然環境や権利に対する意識の高まりによるソフト面の改善も進んでいます。少子高齢化、大規模災害、気候変動、伝染病等、課題は山積していますが、次の50年に向けて“互いにまどかな心のふれあいを大切にしながら、たくましく発展する未来をめざして”行きましょう。50歳おめでとう、大野城市！ (原田真光)